

目 次

序章 中近世治水施設研究の視点…………… 7

はじめに 7

1. 中近世治水施設研究の動向 8
2. 本書の構成とねらい 10

第 1 部 考古学からみた治水施設の構造と技術

第 1 章 中近世における河川堤防の構造と技術……………17

はじめに 17

1. 発掘された河川堤防の概要と分類 18
2. 土砂堤防の構造と技術 22
3. 石堤防の展開 29
4. 堤防保護施設と利水施設の動向 35
5. 技術の系譜と時代的特徴 37

おわりに 39

第 2 章 河川石積み堤防の内部構造に関する考察……………43

はじめに 43

1. 西表堤防と元大明神前堤防 44
2. 水軒堤防 46
3. 河川石積み堤防の分類 48
4. 位置付けと分類 52

おわりに—今後の課題— 54

目 次

第3章 中近世移行期の石材を用いた河川護岸施設……………57

はじめに 57

1. 宇治川太閤堤 58
2. 紀ノ川護岸施設 64
3. 関係する事例 67
4. 遺構の特徴と技術の系譜 72

おわりに 76

第4章 拉材構造をもつ護岸施設の系譜と展開……………79

はじめに 79

1. 事例 80
2. 系譜と変遷 95

おわりに 98

第5章 利水施設と蛇籠の動向……………101

1. 利水施設の動向と課題 101
2. 治水対策と竹・竹材の利用－蛇籠を中心に－ 108

第2部 信玄堤と関連治水施設

第1章 竜王信玄堤の構造について……………115

はじめに 115

1. 研究史 117
2. 書上と堤絵図からみた信玄堤 119
3. 構造と特徴について 124
4. 各施設の築造過程 127

おわりに 130

第2章 信玄堤に関する治水施設の動向……………135

はじめに－甲斐国の治水施設研究事情－ 135

- 1. 釜無川下流地域 136
- 2. 御勅使川の治水施設と流路変遷 139
- おわりに 147

第3部 近世牛柵類の展開と構造

第1章 近世牛柵類の展開—山梨県の国中地域を例に—……………153

- はじめに 153
- 1. 各河川の状況と全体の傾向 155
- 2. 種類ごとの設置状況と使用特性 164
- 3. 牛柵類の成立と画期をめぐって 170
- おわりに 172

第2章 静岡県における近世牛柵類の展開……………175

- はじめに 175
- 1. 各河川の状況 175
- 2. 種類ごとの設置状況 180
- 3. 山梨県国中地域との比較 183
- おわりに 184

第3章 聖牛と柵牛の仕様について……………187

- はじめに 187
- 1. 聖牛の仕様 188
- 2. 柵牛の仕様 192
- 3. 技術の伝播と問題点 198
- おわりに—今後の課題— 200

第4章 沈柵と大・中・小柵の仕様について……………203

- はじめに 203
- 1. 沈柵の仕様 204

目 次

- 2. 大杵の仕様 209
- 3. 中杵の仕様 211
- 4. 小杵の仕様 213
- 5. 杵類の成立・展開と規格 214
- 6. 出来形帳等に見る仕様差 215
- 7. 定法書と出来形帳等に見る実際の仕様の間 217
- おわりに 219

第5章 発掘された杵類の位置付けと施工の実態……………223

はじめに 223

- 1. 杵類の状況と種類 223
- 2. 造られた時期について 227
- 3. 発掘資料と文献史料の間 229

おわりに 232

第4部 治水に携わった人々と技術

第1章 『家忠日記』にみる戦国期の水害と治水……………235

はじめに 235

- 1. 深溝期の水害と治水 236
- 2. 忍期と上代・小見川期の築堤 250
- 3. 土木技術をめぐる課題 251

おわりに 252

第2章 「川除」を冠する近世初期の治水技術者のかたち ……255

はじめに 255

- 1. 『過去帳』の「川除」を冠する人々と「屋敷帳」の住民 255
- 2. 竜王村の成立過程 259
- 3. 治水技術者のあり方 262

おわりに 264

終章 総 括.....267

1. 成果と課題 267
2. まとめにかえて 271

あとがき 277